

# 福井コンピュータホールディングス株式会社

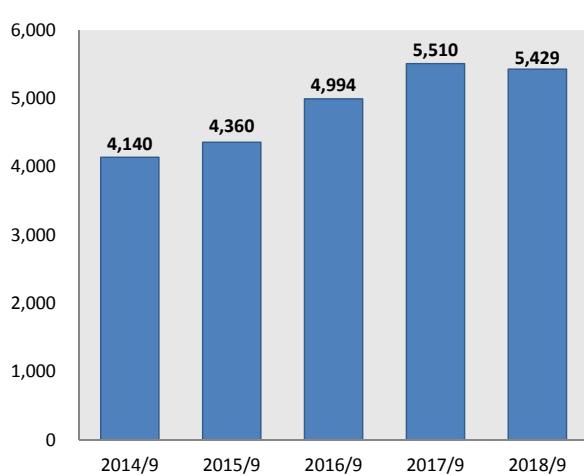
## 2019年3月期第2四半期 決算説明資料

### 業績ハイライト



(単位:百万円)

#### 売上高



(単位:百万円)

#### 経常利益 / 純利益



- 中間決算時点で前年同期比減収増益  
利益は8期連続増益となり、中間決算の最高を更新

## 連結業績の概要(前年同期比)



(単位:百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率	第2四半期 (計画)
売上高	5,510	5,429	△80	△1.5%	5,446
営業費用	3,596	3,504	△92	△2.6%	3,666
営業利益	1,913	1,924	+11	+0.6%	1,780
営業外損益	21	23	+2	+9.2%	22
経常利益	1,935	1,948	+13	+0.7%	1,802
特別損益	—	—	—	—	—
法人税等	689	531	△158	△22.9%	632
四半期純利益	1,245	1,417	+171	+13.8%	1,170

- ▶ 前年同期比で、IT導入補助金及びi-Constructionによる売上の伸びが落ち着いたこと、また、選挙関連サービスの減少により売上微減
- ▶ 営業費用は前年同期比減少のため、営業利益段階では前年同期比増益で推移

3

## 連結業績の概要(計画比)



(単位:百万円)

	第2四半期 (計画)	当第2四半期	増減額	増減率
売上高	5,446	5,429	△16	△0.3%
営業費用	3,666	3,504	△161	△4.4%
営業利益	1,780	1,924	+144	+8.1%
営業外損益	22	23	+1	+8.5%
経常利益	1,802	1,948	+146	+8.1%
特別損益	—	—	—	—
法人税等	632	531	△100	△15.9%
四半期純利益	1,170	1,417	+247	+21.1%

- ▶ 売上高は、概ね計画値内で推移
- ▶ 営業費用が縮減した結果、利益は増加

4

## 売上高の内訳



(単位:百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
ソフトウェア	3,164	3,071	△93	△3.0%
保守サービス	1,889	2,059	+169	+9.0%
商品	253	213	△39	△15.5%
その他	203	85	△117	△58.1%
合計	5,510	5,429	△80	△1.5%

- ソフトウェア、商品売上は、前年同期比で落ち込んだ一方、保守サービス売上が増加し、主たる業務では、概ね横ばい
- その他売上においては、選挙関連サービス及び受託関連が減少

5

## 営業費用の内訳



(単位:百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
人件費	2,366	2,373	+6	+0.3%
商品売上原価	205	173	△31	△15.5%
賃借料	185	192	+7	+4.1%
旅費交通費	159	155	△3	△2.4%
減価償却費	71	86	+14	+20.6%
ロイヤリティ	63	63	+0	+0.3%
外注費	41	30	△10	△25.4%
その他費用	503	427	△75	△15.0%
合計	3,596	3,504	△92	△2.6%

- 商品売上原価、旅費交通費、外注費、また、保険料・支払手数料等のその他費用が縮減
- 減価償却費は、ソフトウェア償却費が増加

6



(単位:百万円)

	建築CAD	測量土木 CAD	調整額	合計
売上高	2,651	2,778	—	5,429
営業利益	746	1,121	56	1,924

(参考:前年同四半期)

(単位:百万円)

	建築CAD	測量土木 CAD	調整額	合計
売上高	2,714	2,795	—	5,510
営業利益	678	1,228	5	1,913

➤ 建築CAD事業は減収増益、測量土木CAD事業は減収減益

7

## 建築CAD事業

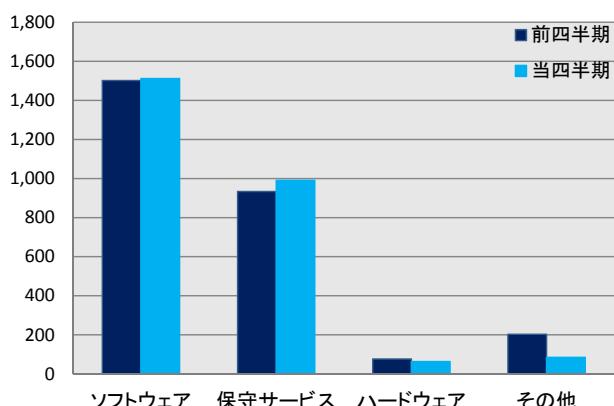


(単位:百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
売上高	2,714	2,651	△63	△2.3%
営業利益	678	746	+68	+10.0%

(単位:百万円)

### 売上高内訳



- ソフトウェアは、ZEH政策の後押しもあり、堅調に推移
- 保守サービスは加入件数が増加
- その他売上においては、選挙関連サービス及び受託関連が減少

8

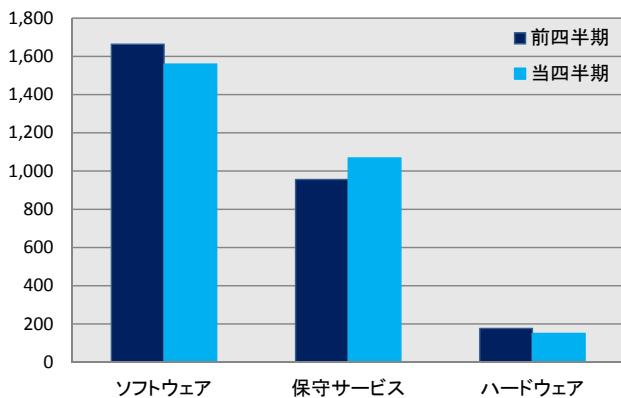


(単位:百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
売上高	2,795	2,778	△17	△0.6%
営業利益	1,228	1,121	△107	△8.7%

(単位:百万円)

## 売上高内訳



➤ソフトウェアは、国土交通省が推進する「i-Construction」に伴う導入が一段落し、前年同期比で売上微減

➤保守サービスは、測量・土木とともに加入件数が増加

9

## 貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	前第2四半期末	当第2四半期末	増減額
現金及び預金	10,070	6,770	△3,300
受取手形及び売掛金	1,677	1,578	△99
その他流動資産	555	563	+8
有形固定資産	2,530	2,486	△44
無形固定資産	61	69	+8
投資その他の資産	2,498	2,436	△62
<b>資産合計</b>	<b>17,393</b>	<b>13,904</b>	<b>△3,489</b>
前受金	2,128	2,351	+223
その他流動負債	1,989	1,841	△148
固定負債	307	274	△33
資本金、資本剰余金	3,727	3,131	△595
利益剰余金	8,415	5,594	△2,820
有価証券評価差額金その他	824	710	△114
<b>負債純資産合計</b>	<b>17,393</b>	<b>13,904</b>	<b>△3,489</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>74.6%</b>	<b>67.9%</b>	

10

## キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,013	1,177	+163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△364	△16	+348
財務活動によるキャッシュ・フロー	△619	△660	△41
現金及び現金同等物の増減額	29	500	+470
現金及び現金同等物の期末残高	9,770	6,770	△3,000

- 営業活動によるキャッシュ・フロー  
税引前利益1,948百万円、減価償却費86百万円、法人税等の支払額684百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー  
有形固定資産の取得による支出36百万円、無形固定資産の取得による支出46百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー  
配当金の支払額660百万円

11

## 2019年3月期通期業績予想



(単位:百万円)

	前期(実績)	当期(予想)	対前期 増減率
売上高	10,902	11,080	+1.6%
営業利益	3,687	3,710	+0.6%
経常利益	3,731	3,740	+0.2%
当期純利益	2,423	2,430	+0.3%
1株当たり当期純利益	105円65銭	117円53銭	
1株当たり配当金	32円00銭	35円00銭	
配当性向	30.3%	29.8%	

12